

2 目標達成計画

作成日: 平成 28年 1月 6日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	災害時人手の少ない夜間帯、ベランダ特機や階段を使用した誘導には外部の協力が必要不可欠であり、これまで火災発生時に近所4軒の通報装置により自動連絡されるようになっていた世帯は高齢化しており、他の若い世帯への引き継ぎの検討、協力依頼が必要である。	夜間を想定した避難訓練を事前の協力依頼も含め、近所の協力を得ながら実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議や広報、回覧を通しての避難訓練への協力呼びかけを行う。 ・推進会議に地域消防団の参加をお願いしながら助言を頂く。避難訓練参加協力 ・自動通報装置連絡協力の近所のお宅を震災後に増えた若い世代へ引き継ぎ出来るようお願いする。 	12ヶ月
2	68	職員の異動や担当者変更等の報告機会がご家族に少なく、家族へのアンケート回答にも記入されていた。	担当職員の異動時や職員紹介の報告機会をつくる。	<ul style="list-style-type: none"> ・グループホームホール内に職員紹介を掲示する。 ・職員異動、変更時は広報を通じてご家族へ報告する。運営推進会議でも報告をする。 	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。